

【お詫び】ERFS 申請システムの情報漏洩について

2021年11月26日

厚生労働省入国者健康確認センター

・11月25日（木）に省庁統一の申請システムとしてリリースされたERFS（入国者フォローアップシステム）において、一部の管理責任者の方々に、他の管理責任者がアップロードしたパスポート画像等が閲覧できる不具合が発生していました。

・その後、11月25日（木）18:45 同システムを緊急メンテナンスモードへ切り替え、利用を停止いたしました。

・ERFS サービス提供事業者（日本エマージェンシーアシスタンス株式会社）による悉皆調査の結果、11月25日時点で登録があった約170人分（53管理責任者が申請）のデータのうち、他の管理責任者が閲覧できる状態にあったのは34人分（28管理責任者の申請分）、当該登録データを閲覧できる状態にあった受入責任者数は26でした。

・本来の管理責任者領域への登録データ修正作業と、アップロードプログラム不具合修正を実施し、11月26日（金）7:15にERFSの提供を再開しました。

ERFS システムをご利用する受入企業の皆様におかれましては、多大なる不安とご迷惑をおかけすることとなり、誠に申し訳ございません。該当された管理責任者様には個別にご連絡して参ります。

再びこのような事態を発生させることがないよう、より一層の管理体制の強化に努める所存です。本件に関しましてのお問い合わせがございましたら以下までお願いいたします。

入国者健康確認センター contact@hco.mhlw.go.jp

=====

<不具合の概要>

・11月25日（木）9:00から同日18:45の期間、他の管理責任者がアップロードしたパスポート画像等が一部の管理責任者に閲覧できる不具合が発生した

・具体的には、同時刻（セッション）に受入責任者Aと受入責任者Bがログインしていた際に

(1) 受入責任者Aがパスポート登録画面でアップロードを押す

(2) 受入責任者Bが誓約書登録画面でアップロードを押す

(3) 受入責任者Bが誓約書登録画面で登録ボタンを押す

という作業をすると、A、Bそれぞれがアップロードした画像が、Bの入国予定者登録へ登録された

<原因>

添付ファイルのアップロードを制御するプログラムの不具合・検証不足

<対策>

- ・不具合箇所の修正・リリース（実施済み）
- ・該当ファイルの削除（実施済み）
- ・システム開発テスト体制の強化

以上